

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月10日

上場会社名 大証金(大阪証券金融株式会社)
 コード番号 8512 URL <http://www.osf.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 堀田 隆夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画総務部長 (氏名) 西山 剛
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東大

TEL 06-6233-4510

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	5,753	—	△70	—	548	—	△2,082	—
20年3月期第3四半期	5,532	△4.3	551	△13.5	818	10.9	619	25.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△58.42	—
20年3月期第3四半期	17.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第3四半期	324,322	—	20,280	—	6.3	—	570.38	
20年3月期	719,011	—	32,902	—	4.6	—	921.57	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 20,280百万円 20年3月期 32,902百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	0.5	500	△15.5	1,200	26.9	△12,000	—	△336.71

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 21年3月期第3四半期 | 37,000,000株 | 20年3月期 | 37,000,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 21年3月期第3四半期 | 1,443,281株 | 20年3月期 | 1,297,301株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 21年3月期第3四半期 | 35,638,486株 | 20年3月期第3四半期 | 36,415,009株 |

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、さまざまな不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

なお、上記業績予想に関する事項につきましては、3ページ「3.連結業績予想に関する定性的情報」並びに本日公表の「リーマン・ブラザーズ証券との取引清算と当社業績に与える影響等および経営改善のための諸施策に関するお知らせ」及び「特別損益の発生、その他有価証券評価差額金の減少並びに平成21年3月期業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年12月31日まで)のわが国経済は、期中半ばにかけて米国経済の減速や原油・原材料価格上昇による企業収益の悪化などから足踏み状態で推移した後、後半には世界的な金融危機の深刻化から国内景気も後退局面に入り、期末にかけては景気悪化が顕著となりました。

株式市況についてみますと、1万2千円台でスタートした日経平均株価は、6月上旬には1万4千円台まで水準を上げたものの、その後は景気後退懸念から弱含みの展開となり、9月中旬のリーマン・ブラザーズ証券の経営破綻に起因する金融不安の高まりから下げ足を速め、10月下旬には26年ぶりに一時7千円を割り込みましたが、その後は持ち直し、12月末は8千円台後半で越年しました。

この間、大阪市場における信用取引買残高は、期中半ばにかけて概ね1,400億円を挟む水準で推移したものの、その後は株式市場の大幅続落から10月末には1,000億円を割り込み、期末には600億円台まで急減しました。

このような情勢下、当第3四半期連結累計期間の連結営業収益は5,753百万円(前年同期比4.0%増)となったものの、営業費用、販売費及び一般管理費の増加から連結営業損益は70百万円の損失、連結経常利益は548百万円(前年同期比33.0%減)となりました。また、連結四半期純損益はリーマン・ブラザーズ証券との取引清算に伴う投資有価証券売却損及び投資有価証券評価損並びに証券担保ローンにおける貸倒引当金繰入額を特別損失に計上したこと等により2,082百万円の損失となりました。

事業の種類別セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

<証券金融業>

証券金融業におきましては、株式市場の低迷により、貸借取引等信用取引向け貸付金をはじめとする資金運用残高が減少したものの、有価証券貸付料などが増加した結果、営業収益は5,618百万円(前年同期比4.3%増)となりました。一方、営業損益は営業費用や一般管理費が増加したことから151百万円の損失となりました。

<不動産賃貸・リース業>

不動産賃貸・リース業におきましては、不動産賃貸料やリース料が減少したため、営業収益は135百万円(前年同期比8.0%減)、営業利益は61百万円(前年同期比12.2%減)となりました。

なお、前年同期比較に関する情報は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1)資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産額は324,322百万円と前連結会計年度末に比べて394,688百万円減少しました。主な要因は、借入有価証券代り金や営業貸付金などが減少したことによるものです。

一方、負債総額は304,041百万円と前連結会計年度末に比べて382,067百万円減少しました。主な要因は、短期借入金やコマーシャル・ペーパーなどが減少したことによるものです。

また、純資産額は20,280百万円と前連結会計年度末に比べて12,621百万円減少しました。主な要因は、その他有価証券評価差額金などが減少したことによるものです。

(2)キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、930百万円と前連結会計年度末に比べて2,006百万円減少しました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、1,831百万円の支出超となりました。支出の主な内訳は、短期借入金の純減少額236,500百万円、税金等調整前四半期純損失2,849百万円、コマーシャル・ペーパーの減少額57,000百万円によるものであり、収入の主な内訳は、借入有価証券代り金の減少額267,886百万円、営業貸付金の減少額52,114百万円、利息及び配当金の受取額4,782百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、20百万円の支出超となりました。これは、主に無形固定資産の取得による支出232百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、155百万円の支出超となりました。これは、主に配当金の支払額110百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間において、リーマン・ブラザーズ証券との株券レポ取引の清算に伴う投資有価証券売却損及び投資有価証券評価損が発生し、また、昨年来の株価の下落によりビジネスローンをはじめとする証券担保ローンの担保有価証券評価額が大幅に下落したこと等に伴う貸倒引当金繰入額が増加したため、これらを特別損失に計上したことなどから平成20年10月30日に公表いたしました平成21年3月期の通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「リーマン・ブラザーズ証券との取引清算と当社業績に与える影響等および経営改善のための諸施策に関するお知らせ」及び「特別損益の発生、その他有価証券評価差額金の減少並びに平成21年3月期業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,930	1,637
有価証券	63,245	103,506
営業貸付金	77,870	129,985
借入有価証券代り金	111,725	447,896
その他	10,634	15,055
貸倒引当金	△2,664	△487
流動資産合計	263,742	697,593
固定資産		
有形固定資産	890	905
無形固定資産	1,027	1,025
投資その他の資産		
投資有価証券	58,118	19,316
その他	1,232	171
貸倒引当金	△688	△0
投資その他の資産合計	58,662	19,486
固定資産合計	60,579	21,417
資産合計	324,322	719,011
負債の部		
流動負債		
コールマネー	92,200	123,700
短期借入金	173,400	409,900
コマーシャル・ペーパー	—	57,000
貸付有価証券代り金	26,977	78,797
未払法人税等	34	267
賞与引当金	46	93
その他	6,160	10,621
流動負債合計	298,818	680,379
固定負債		
長期借入金	4,500	4,500
退職給付引当金	383	449
役員退職慰労引当金	251	371
その他	88	407
固定負債合計	5,222	5,728
負債合計	304,041	686,108

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,500	3,500
資本剰余金	1,729	1,729
利益剰余金	26,026	28,218
自己株式	△577	△532
株主資本合計	30,678	32,915
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△9,325	1,059
土地再評価差額金	△1,072	△1,072
評価・換算差額等合計	△10,397	△13
純資産合計	20,280	32,902
負債純資産合計	324,322	719,011

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
営業収益	5,753
営業費用	3,306
営業総利益	2,446
販売費及び一般管理費	2,517
営業損失(△)	△70
営業外収益	
受取利息	1
受取配当金	345
持分法による投資利益	236
失念株取扱益	41
その他	5
営業外収益合計	631
営業外費用	
租税公課	10
その他	1
営業外費用合計	12
経常利益	548
特別利益	
投資有価証券売却益	980
特別利益合計	980
特別損失	
投資有価証券売却損	1,508
投資有価証券評価損	614
貸倒引当金繰入額	2,255
特別損失合計	4,378
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,849
法人税、住民税及び事業税	17
法人税等調整額	△785
法人税等合計	△767
四半期純損失(△)	△2,082

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
営業収益	1,819
営業費用	1,018
営業総利益	800
販売費及び一般管理費	1,098
営業損失(△)	△297
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	309
持分法による投資利益	149
失念株取扱益	1
その他	6
営業外収益合計	468
営業外費用	
租税公課	10
その他	2
営業外費用合計	13
経常利益	157
特別利益	
投資有価証券売却益	747
特別利益合計	747
特別損失	
投資有価証券売却損	1,508
投資有価証券評価損	614
貸倒引当金繰入額	1,183
特別損失合計	3,307
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,401
法人税、住民税及び事業税	△86
法人税等調整額	△405
法人税等合計	△492
四半期純損失(△)	△1,909

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,849
減価償却費	323
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,864
賞与引当金の増減額(△は減少)	△47
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△66
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△120
受取利息及び受取配当金	△4,858
支払利息	1,944
持分法による投資損益(△は益)	△236
投資有価証券売却損益(△は益)	528
投資有価証券評価損益(△は益)	614
定期預金の純増減額(△は増加)	△1,300
有価証券及び投資有価証券の純増減額(△は増加)	54,078
営業貸付金の増減額(△は増加)	52,114
借入有価証券代り金の増減額(△は増加)	267,886
コールマネー等の純増減(△)	△31,500
短期借入金の純増減額(△は減少)	△236,500
コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	△57,000
貸付有価証券代り金の増減額(△は減少)	△51,820
貸借取引担保金の増減額(△は減少)	940
信用サポートローン担保金の増減額(△は減少)	1,110
役員賞与の支払額	△33
その他	△495
小計	△4,421
利息及び配当金の受取額	4,782
利息の支払額	△1,940
法人税等の支払額	△250
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,831
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の売却による収入	297
有形固定資産の取得による支出	△85
無形固定資産の取得による支出	△232
その他	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の売却による収入	0
自己株式の取得による支出	△45
配当金の支払額	△110
財務活動によるキャッシュ・フロー	△155
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,006
現金及び現金同等物の期首残高	2,937
現金及び現金同等物の四半期末残高	930

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	証券金融業 (百万円)	不動産賃貸 ・リース業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	5,618	135	5,753	—	5,753
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	83	83	(83)	—
計	5,618	218	5,836	(83)	5,753
営業利益又は営業損失(△)	△151	61	△89	18	△70

(注) 1 事業区分は事業内容の実態を勘案して区分したものであります。

2 各事業の主な売上高

(1) 証券金融業…貸付金利息、有価証券貸付料等

(2) 不動産賃貸・リース業…不動産、コンピューター、ソフトウェアの賃貸料

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

在外子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

該当事項はありません。

「参考資料」

【前年同四半期にかかる財務諸表等】

(1) 四半期連結損益計算書

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
	金額(百万円)
I 営業収益	
1. 貸付金利息	2,446
2. 借入有価証券代り金利息	2,072
3. 受取手数料	173
4. 有価証券貸付料	416
5. その他	423
営業収益合計	5,532
II 営業費用	
1. 借入金支払利息	1,681
2. コマーシャル・ペーパー利息	36
3. 貸付有価証券代り金利息	248
4. 有価証券借入料	397
5. 支払手数料	526
6. その他	50
営業費用合計	2,940
営業総利益	2,591
III 販売費及び一般管理費	2,040
営業利益	551
IV 営業外収益	
1. 受取利息	1
2. 受取配当金	48
3. 持分法による投資利益	210
4. その他	7
営業外収益合計	268
V 営業外費用	
1. その他	2
営業外費用合計	2
経常利益	818
VI 特別利益	
1. 貸倒引当金戻入	3
2. 固定資産売却益	5
特別利益合計	8
VII 特別損失	
1. 有形固定資産除却損	3
2. 投資有価証券評価損	3
特別損失合計	6
税金等調整前四半期純利益	819
法人税、住民税及び事業税	204
法人税等調整額	△4
四半期純利益	619

(2) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	819
減価償却費	349
貸倒引当金の増加額	175
賞与引当金の減少額	△ 43
退職給付引当金の増加額	42
役員退職慰労引当金の減少額	△ 71
受取利息及び受取配当金	△ 4,845
支払利息	1,966
持分法による投資利益	△ 210
有形固定資産売却益	△ 5
有形固定資産除却損	3
投資有価証券評価損	3
定期性預金の純減少額	800
有価証券及び投資有価証券の純減少額	4,554
貸付金の減少額	31,350
借入有価証券代り金の減少額	72,530
コールマネーの減少額	△ 26,900
短期借入金の減少額	△ 120,600
コマーシャル・ペーパーの増加額	7,000
貸付有価証券代り金の増加額	37,641
貸借取引担保金の増加額	1,468
信用サポートローン担保金の減少額	△ 4,000
役員賞与の支払額	△ 38
その他	△ 3,058
小計	△ 1,069
利息及び配当金の受取額	4,923
利息の支払額	△ 2,005
法人税等の支払額	△ 290
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,558
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△67
有形固定資産の売却による収入	7
無形固定資産の取得による支出	△188
その他	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△242
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の売却による収入	0
自己株式の取得による支出	△219
配当金の支払額	△295
財務活動によるキャッシュ・フロー	△515
IV 現金及び現金同等物の増加額	801
V 現金及び現金同等物の期首残高	2,212
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	3,014

(3) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

	証券金融業 (百万円)	不動産賃貸 ・リース業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	5,385	146	5,532	—	5,532
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	84	84	(84)	—
計	5,385	231	5,616	(84)	5,532
営業利益	460	70	531	20	551

(注) 1 事業区分は事業内容の実態を勘案して区分したものであります。

2 各事業の主な売上高

- (1) 証券金融業……………貸付金利息、有価証券貸付料等
- (2) 不動産賃貸・リース業…不動産、コンピューター、ソフトウェアの賃貸料

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

在外子会社及び在外支店がないため該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

該当事項はありません。

「参考」

【四半期財務諸表】

- ①四半期個別財務諸表は法定開示におけるレビューの対象ではありません。
 ②当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(1) 【四半期貸借対照表】

	(単位：百万円)	
	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,860	1,616
有価証券	63,245	103,506
営業貸付金	77,870	129,984
借入有価証券代り金	111,725	447,896
その他	10,641	15,047
貸倒引当金	△2,664	△487
流動資産合計	263,678	697,563
固定資産		
有形固定資産	305	270
無形固定資産	1,022	1,019
投資その他の資産		
投資有価証券	51,563	12,816
その他	1,278	278
貸倒引当金	△688	△1
投資その他の資産合計	52,153	13,094
固定資産合計	53,482	14,384
資産合計	317,161	711,948
負債の部		
流動負債		
コールマネー	92,200	123,700
短期借入金	173,400	409,900
コマーシャル・ペーパー	—	57,000
貸付有価証券代り金	26,977	78,797
未払法人税等	20	267
賞与引当金	46	93
その他	6,155	10,619
流動負債合計	298,799	680,377
固定負債		
長期借入金	4,500	4,500
退職給付引当金	383	434
役員退職慰労引当金	227	354
その他	0	317
固定負債合計	5,111	5,605
負債合計	303,911	685,983

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,500	3,500
資本剰余金	1,729	1,729
利益剰余金	17,498	19,848
自己株式	△131	△86
株主資本合計	22,596	24,992
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△9,346	973
評価・換算差額等合計	△9,346	973
純資産合計	13,250	25,965
負債純資産合計	317,161	711,948

(2) 【四半期損益計算書】

(単位：百万円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
営業収益	5,618
営業費用	3,260
営業総利益	2,357
一般管理費	2,508
営業損失(△)	△151
営業外収益	
受取利息	2
受取配当金	460
失念株取扱益	41
その他	23
営業外収益合計	528
営業外費用	
租税公課	10
その他	1
営業外費用合計	12
経常利益	365
特別利益	
投資有価証券売却益	980
特別利益合計	980
特別損失	
投資有価証券売却損	1,508
投資有価証券評価損	614
貸倒引当金繰入額	2,255
特別損失合計	4,378
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,033
法人税、住民税及び事業税	4
法人税等調整額	△797
法人税等合計	△793
四半期純損失(△)	△2,240